

大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

JCO 臨界事故から間もなく 18 年 犠牲者を悼んで、毎年お盆参り

1999 年 9 月 30 日、誰もが想像しなかった JCO で
の臨界事故。高レベルでの被曝事故となり、労働者 2
人が苦しく辛い治療の末、亡くなりました。今年の
墓参りは 14 日に行いました。

私たちは、JCO 臨界事故を決して忘れてはならな
い、そして原子力事故を繰り返させてはならないと、
毎年 9 月 30 日前後に集会を開いて世論を喚起してき
ました。

しかし、最悪の原発事故は、JCO 臨界事故からわ
ずか 12 年後に起きてしまいました。

「日本の原発は、過酷事故は起きない」と言われ

続けてきましたが、それは事
実ではないことが明白にな
ったのです。こんな罪作りが
許されているのでしょうか。

未完成な技術のまま売電営
業するなんて。どんなに考え
ても、原発はやめる以外に方
法はありません。



今年は 15 日、会津のお墓参り

お墓参りの時は、いつでもお墓のお掃除から。蜘蛛
の巣をはらい、周辺の草をとったり・・・。年 4
回行けばそんなに大変ではありませんが、子孫がす
ぐそばにいないのでお参りと同時の草取りです。

生憎の雨模様でしたので、大江戸温泉物語あいつ
で、昼食バイキン
グと、子どもたち
のプレイルームで
走り回って遊んで
帰りました。

帰路は、U ター
ンラッシュに。



マイカーで避難できな
い住民は、コミセンに一
旦避難し、バスに乗り込
み他自治体に避難



自衛隊の車に先導
されてバスが出
発。高速道路イン
ターへ向かう

7/30 第 1 回東海村広域避難訓練 を実施

原発から半径 30 キロ圏内自治体に義務付けられ
た広域避難計画の策定。重大事故が起きてから広域
避難計画をつくれと言われても、1 自治体でつくる
ことは到底無理というものではないでしょうか。

そして、「避難計画に実効性はあるのか」、誰しも
が疑問に思うことですが、義務となればとにかく策
定に向け何かしら取り組まなければなりません。ま
してや本村行政区域内には、原発が立地しているの
です。7 月 30 日の訓練は、住民の「避難計画策定
前に、計画案の実効性を確認するための訓練を求め
る」声に基づき実施されたものです。

小さい 2 人のお子さんを連れたご夫婦は、「とに
かくどんな感じか参加しておかなければ」と参加を
申し込んだと言っておられました。

事故が起き得る原発で本当に過酷事故になつた
ら、村民は被ばくは免れないでしょう。

現時点では事故が起き得る原発しかないのなら、
「原発はやめる」この決断が賢い選択です。

東海第二原発の再稼働是非

知事選・村長選を経てどうなるのか

茨城県・東海村にとっての争点は、東海第二原
発再稼働の是非、住民のいのち・暮らしを守る政治
優先の是非です。

これまでにどんな活動をしてきた人物かが大き
く問われると思いますが、国や政権党言いなりで
なく、真に県民・村民の立場で自立した判断で政
治を行えることが重要です。